

目標達成計画

事業所名: グループホームこころ

作成日: 平成23年7月28日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	34	緊急・事故発生時の連絡や対応法、特変時のシュミレーションを実施しているが、実際その場に立ち会った時、冷静な対応ができるか不安がある。	実際の緊急時に対応ができ、また自信が持てるよう自己研鑽していく。	・連絡・対処法についてはマニュアルに基づいて定期的に周知、再確認していく。 ・「ひやりはっと」から個別の傾向、統計を取り、予測される対策を講じていく。 ・傾向からみたシュミレーションを実施するとともに、各自の於いてもイメージトレーニングで自信をつけていく。	1年
2	36	日々の生活の中で、職員の何気なく発した言葉、配慮に欠けた言動など、人格を損ねかねない言葉については常に意識下に収め、警告し合うことが必要。	人格の尊重、プライバシーを常に意識し、気になることがあれば警告したり、話し合える環境を目指す。	・外部研修に参加し知識を深めたり、他の施設職員から刺激を受ける等の機会を持つ。 ・気になる対応など会議で提案し、話し合いの場を作っていく。 ・管理者は、見て見ぬ振りの風潮に陥らないよう動向に目を向けていく。	1年
3	47	投薬介助にあたり、服用忘れや慣れによるミスを引き起こさないよう細心の注意を払う。	薬に関わる際は、一連の動作を常に意識して関わり、周囲もフォローできる体制を作る。	・投薬の際は、日付け・名前・色別を確認、また、職員同志で声をかけ合い、投薬ミスや服薬忘れを防ぐ。 ・個々に飲み込むまでの確認を忘れない。 ・どのような薬を飲んでいるか、薬の一覧表に目を通していく。 ・慣れによる無意識な動作は自己啓発していく。	6ヶ月
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入して下さい。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加して下さい。